

研修テーマ：「幼小連携から発達の連続性を見つめる」～子どもの足の発達を通して～

実施期間：平成27年9月7日（月）～9月8日（火）

実施会場：成徳小学校および倉吉幼稚園

参加人員：成徳小学校教職員8名・倉吉幼稚園教職員15名

講師：早稲田大学人間総合研究センター 吉村 真由美 先生

1 参観授業「靴履き指導」

日時：平成27年9月7日（月）10：00～11：30

場所：倉吉幼稚園なかよしホール

対象児：倉吉幼稚園2～5歳児

自分で靴を履けるようになる2歳児から5歳児まで、学年毎に靴を正しく履くことの大切さを紙芝居等を通して知り、正しい靴の履き方、テープをはがす、足を入れる、かかとをトントンする、テープをぎゅっと締める。というサイクルを個別に指導していただいた。



2 講義「子どもの足を守る靴教育」

日時：平成27年9月7日（月）15：00～17：00

場所：倉吉幼稚園にこにこ文庫教室

対象：成徳小学校教職員・倉吉幼稚園教職員

足の健康が子どもの健やかな成長にとって大きな役割を果たすことを前提に、ドイツ整形靴の理論に基づいた正しい靴の履き方と選び方が、靴の機能を十分に引き出し足の健康を守っていくことを知ること。また、靴への意識が低い日本の社会の中で、子どもを導く立場にある者がこのことを知ることの重要性について学んだ。



3 参観授業「正しい靴の履き方と靴の役割」

日時：平成27年9月8日（火）10：40～12：15

場所：成徳小学校テラス及び体育館

対象児：成徳小学校3年生 24名

参観授業においては、3年生24名を対象に講義を中にはさみ正しい靴の履き方をした時とそうでない時の走りに違いが出てくることを子どもたちが体感した。また、自分の足のサイズを実測し、自分に合った靴のサイズについても学んだ。体験に伴う実感がある中でのお話は、一様に子どもたちの理解を促進していった。

